

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス フロル			
○保護者評価実施期間	令和7年2月17日		～	令和7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年2月24日		～	令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭的な環境の中で、利用者が居心地よさと安心を感じて過ごしながら、身の自立や社会のルールを身につけることができる。	一軒家という建物の中で、視覚ツールや補助具などを用いた配慮、指導員によるあたたかな声掛けやかかわりを行い、ルールに沿った行動や身の回りのことを意欲を持って取り組めるように支援している。	個々に合わせた配慮を細かく考慮し、職員全員が共通認識のもと支援が行えるように話し合いを増やす
2	豊富な遊びと玩具を通してお子さまの興味や関心を引き出し、活動の意欲を育んでいる。また、小集団で参加する活動を設定し、園などの集団生活の場に繋げている。	興味や関心が広がるように、玩具や遊びが固定化されないようにしている。自信を持って活動に参加できるように集団活動は小グループにしたり、個々の様子に合わせて行っている。また、ともだちへの意識が高まるように活動を設定している。	1つの玩具や遊びの中に、個々に合った様々な課題を取り入れていけるように、チームで遊びを工夫できるように話し合いを深めていく。
3	保護者との連絡、情報の共有を密に行い、問題の解決や方法を一緒に考え、取り組んでいる。	送迎時や通信アプリ、面談などを利用して、保護者様とお子様の様子や取り巻く環境などの情報共有を密に取り合っている。	保護者様に面談の機会の周知とを積極的に働きかけていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員の知識や技術が未熟なところがある	日常の業務に追われていたり、役割分担がうまく機能しておらず、時間が効率的に使えていない。	業務分担を整えるとともに、時間を作って勉強会に参加していく。また、職員間での話し合いを増やし、個々の意欲、向上心を伸ばしていく。
2	保護者会などの開催や活動内容の視覚化と発信不足	会の方法など考えているが、意見がまとまらず行えていない。ブログや写真などを共有する担当制が機能していなかった。	担当制の見直しを行うとともに、活動の計画時に撮影も考慮する。保護者様に活動の全容がわかるような発信をしていく。
3	地域、地域の園や保育所との連携が不十分	交流のきっかけがなく、また積極的に関わりをもてていない。園や保育所に一事業所からははたらきかけが難しい。	自治会、地域で開催されている催しに参加していく。部会などを通して、園や保育所との交流を持てるようにしていきたい。